

# All-in-oneで強力サポート

## ウィーメックス

今年1月スタートの電子処方箋、4月からのオンライン資格確認導入の原則義務化により、データヘルス集中改革による医療DXがさらに加速している。PHCホールディングス傘下のウィーメックスが提供する「オンライン資格確認」と連携する保険医療機関・薬局向けレセコン用ソフトウェアの導入支援数は、6月に累計で3万5000件を突破した。

同社は販売パートナー各社と共に全国にサポート体制を展開し、「オンライン資格確認」の導入を支援してきた。5月にはパナソニックコネクスト製・顔認証付きカードリーダーの販売を開始し、同社から購入できるようになった。導入の初動から円滑な運用開始まで一貫通貫の支援で保険医療機関・薬局における導入負担軽減を実現している。

オンライン資格確認の運用開始により、その場で保険資格を確認し、薬剤情報や特定健診情報、診療情報の参照ができる。入力の手間を大幅に削減させ、自局以外の患者情報も含めた一元管理も可能となる。運用をはじめた薬局からは、「新規患者の手入力での登録が不要になったことで、業務スピードが上がった」などと好評だ。

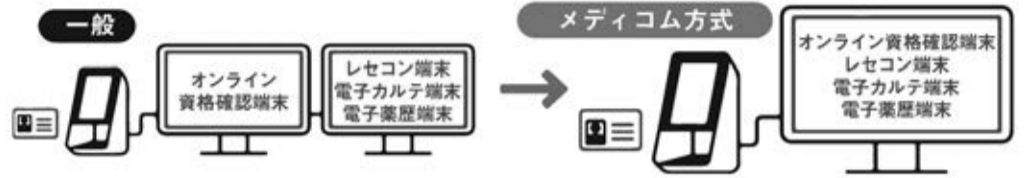
同社では導入にあたり、専用端末を用意する一般的な方式に加え、一つの端末にオンライン資格確認・レセコン・電子カルテ/電子薬歴の機能を付与するAll-in-one方式を提供しており、スペースに限られる診療所や薬局の受付でも無理なく導

入できるのが大きな特徴となっている。また、同社の電子薬歴システム「PharnesV-MX」はレセコンと薬歴をシームレスに一体化し、患者の必要な情報をワイドモニターで『一画面』で閲覧できるなど、現場での『使いやすさ』にこだわった仕様となっている。紙の処方箋に対しても、スキャンと同時に2次元コードデータを取り込んで自動転記する機能などで入力の手間を削減でき、ハイリスク薬画面やシエマ図などできめ細かな指導をサポートしている。また電子薬歴システム「DrugstarPrime」は患者参加型の治

療を実践する「アドヒアランス向上プログラム」を搭載し、薬剤師の専門性を支援。オンライン服薬指導ツールと双方向に連携するWebAPI機能を搭載し、クラウド薬歴DrugstarLeadとの連携によるハイブリッド運用や、LLM(大規模言語モデル)を活用した自然言語による音声操作など、AI連携機能も充実した高機能型の電子薬歴システムとなっている。

ウィーメックスは、医療へのさらなる貢献を見据え、企画・開発から販売まで一貫通貫でのサービス提供を可能とする体制強化を目指していく。

#ウィーメックス独自のAll-in-one方式での「オンライン資格確認」導入



一般的な方式と All-in-one 方式の比較図

# 話題の調剤支援システム

関連記事19~22ページ

## 「薬剤師の声」から圧倒的操作性

### アクシス「メディクス」

アクシスは、国内初(自社調べ)となるクラウド型電子薬歴「メディクス」を提供し、薬局が抱える様々な課題解決をサポートしている。クラウド型電子薬歴であるため、インターネット環境があれば時間や場所を選ばず、薬歴の確認や記載を行うことができ、パソコンだけでなくタブレットPCなど多様な端末で利用が可能。薬局外での訪問調剤、出張先でも使える薬歴システムとなっている。持ち運びができるだけでなく、薬剤師の業務手順や使いやすさを第一に機能を設計しており、薬歴入力時間を大幅に短縮しているのが大きな特徴だ。

患者に指導した内容を確実に記録することができるため、整合性のとれた適切な薬歴作成が可能で、定期的な機能アップデートも実施している。さら

に、インターネットを通じて全て自動でアップデートされるため、更新作業や更新費用などは一切かからない。地域密着の薬局や在宅専門の薬局など、様々な薬局に好評でサービス提供開始から契約継続率99%となっている。

服薬指導・薬歴作成に必要な頭書きや処方箋の比較、過去の指導内容が一つの画面で確認できると共に、服薬指導から薬歴作成を迅速に行うために入力サポート機能を搭載している。患者の生活習慣や嗜好(頭書き)、処方された薬をもとに、患者の症状に応じた指導例文が2万点用意されているほか、よく使う言葉や文章は薬局オリジナルの指導文として簡単に登録できるため、例文をクリックするだけで入力が可能となる。

前回と今回処方の差分についても、

1クリックで薬歴に自動入力でき、患者の前回来局時の服薬指導内容から今回の服薬指導に必要な確認事項を忘れないようシステムが注意喚起して、継続的な服薬指導をアシストしている。

従来のオンプレミス型の電子薬歴は薬歴のデータが蓄積されると動作スピードが遅くなり、検索に時間がかかることが指摘されていたが、メディクスは最先端の高速化技術を取り入れているため、10年分以上の薬歴データを蓄積しても操作レスポンスの低下がないのも最大のメリットといえる。

複数店舗の薬歴を管理できる機能も搭載しており、特に店舗数が多いチェーン薬局には好評だ。店舗ごとの来局ピーク時間や地域別データなども集計できるほか、グループ店舗で「未入力」や「保留」になっている薬歴の数を集計し、見える化することで薬歴未記載を未然に防ぎ、監査や指導にも役立てる。



そのほか、訪問調剤や24時間対応、処方チェック、疑義照会にも対応。オプション機能には、病名登録、処方からの逆引きによる「疾病監査機能」で処方をチェックする機能や、OTC医薬品と処方薬の併用薬監査機能、DSU情報が発出された医薬品をチェックする機能、服薬中のフォローアップ機能、オンライン服薬指導などを有し、幅広く薬局のニーズに対応している。

# 第56回 日本薬剤師会学術大会

(順不同)

<p><b>tokiwa</b> PHYTOCHEMICAL</p> <p><b>株式会社 常磐植物化学研究所</b></p> <p>本社 東京都中央区日本橋本町四丁目一五 電話 〇三(五二〇〇)一四一五 東京支社 千葉県佐倉市木野子一五 電話 〇四三(四九八)〇〇〇七</p>	<p><b>小松屋株式会社</b></p> <p>代表取締役 小林宏輔</p> <p>〒541-0056 大阪府大阪市中央区久太郎町一十九 電話 〇六(六二七)六三〇〇</p>	<p><b>兵庫医科大学薬学部</b></p> <p>〒650-8530 神戸市中央区港島一丁目三 電話 〇七八(三〇四)三〇〇〇</p>	<p><b>神戸薬科大学</b></p> <p>〒658-8558 神戸市東灘区本山北町四一九 電話 〇七八(四五三)〇〇三一</p>	<p><b>立命館大学薬学部</b></p> <p>〒525-8577 滋賀県草津市野路東一丁目一 電話 〇七七(五六)二五六三</p>	<p><b>京都薬科大学</b></p> <p>〒607-8414 京都市山科区御陵中内町五 電話 〇七五(五九五)四六〇五</p>	<p><b>新潟薬科大学</b></p> <p>〒956-8603 新潟市秋葉区東島二六五 電話 〇二五〇(二二五)五〇〇〇番</p>	<p><b>横浜薬科大学</b></p> <p>〒245-0066 神奈川県横浜市戸塚区俣野町六〇 電話 〇四五(八五九)一三〇〇</p>
---	--	---	---	--	--	---	---